

表1 平成20年度初期環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質 調査 番号	調査対象物質	水質 (ng/L)		底質 (ng/g-dry)		大気 (ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	2-アミノピリジン					nd 0/5	0.051
[2]	<i>p</i> -アミノフェノール	nd~14 1/3	9				
[3]	9,10-アントラセンジオン (別名: アントラ キノン)					1.1~8.7 5/5	0.43
[4]	2-クロロニトロベンゼン			nd 0/15	0.22	nd 0/9	0.12
[5]	4,4'-ジアミノジフェニルエーテル	nd 0/11	3.2				
[6]	ジエチレングリコール					6.1~45 5/5	3.3
[7]	ジチオリン酸 <i>S</i> -2-(エチルチオ)エチル- <i>O,O</i> -ジ メチル (別名: チオメトン)					nd 0/4	0.23
[8]	ジナトリウム=2,2'-ビニレンビス[5-(4-ホルホ リノ-6-アニリノ-1,3,5-トリアジン-2-イルア ミノ)ベンゼンスルホナート] (別名: CI フ ルオレスセント 260)					nd 0/5	0.16
[9]	4,6-ジニトロ- <i>o</i> -クレゾール	3.7~69 7/7	0.19				
[10]	2,6-ジニトロトルエン			nd 0/15	0.10		
[11]	<i>m</i> -ジニトロベンゼン			nd 0/15	0.11		
[12]	ジベンジルエーテル (別名: [(ベンジルオ キシ)メチル]ベンゼン)					nd~0.59 3/6	0.12
[13]	3,3'-ジメトキシベンジジン	nd 0/6	2.1				
[14]	チオリン酸 <i>O,O</i> -ジメチル- <i>S</i> -{2-[1-(<i>N</i> -メチル カルバモイル)エチルチオ]エチル} (別名: バミドチオン)	nd 0/3	0.062			nd 0/5	0.28
[15]	2-(2-ナフチルオキシ)プロピオンアニリド (別名: ナプロアニリド)	nd 0/3	0.77				
[16]	<i>o</i> -ニトロアニソール					nd 0/20	1.4
[17]	<i>o</i> -ニトロアニリン			nd~0.22 2/15	0.10	nd 0/14	0.32
[18]	<i>m</i> -ニトロアニリン			nd 0/10	0.22		
[19]	<i>o</i> -ニトロトルエン					nd~31 1/8	0.2
[20]	4-ヒドロキシ安息香酸メチル	nd~3 1/3	2				
[21]	6-フェニル-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン	nd~12 6/8	1.0			nd~0.22 5/5	0.019
[22]	2-プロパノール (別名: イソプロピルアル コール)					200~4,900 5/5	10
[23]	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソ シアネート					nd 0/5	0.3
[24]	4,4'-メチレンビス(<i>N,N</i> -ジメチルアニリン)	nd 0/6	2.4				

(注1) 検出頻度は地点ベースで示した。すなわち、検出地点数/調査地点数(測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。)を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は検体ベースで示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) □は調査対象外の媒体であることを意味する。